

新成人のつどい
1月8日

地域コミュニティの拠点！！

小出コミセン 地域で育てる子どもたち

小学生の茶道教室
3月17日



午後4時半より、53名の新成人、来賓28名（恩師10名）、保護者23名、スタッフ含めて総勢160名余の参加・協力により、盛大に開催されました。例年通り、小出小の後輩が育てたお米で作った、メッセージ付きのお赤飯や、工夫を凝らした手作りの料理に囲まれ、恩師を交えて楽しい歓談の時を過ごしました。そして今回は、保護者が集う別室にテレビモニターが設置され、会場の様子が見られるようになり喜んでいただけました。参加者全員が心に残る集いとなりました。

2分の1成人式
2月8日



子どもの成長の節目として、成人までの半分の10歳を祝う2分の1成人式が、4年生2クラス58名の生徒とその保護者がコミセンに集まり行われました。クラス別に分かれての作文発表、全員合唱・・・。作文はタイムカプセルに収め、10年後にコミセンで開催される「新成人のつどい」まで大切に保管され、開封することになります。最後に、コミセンから紅白饅頭を全員に贈り、2分の1の成人式をお祝いしました。



新成人のみなさんを拝見する機会がありました。みんな、大きい～！今年の「二分の一成人式」を迎える我が子の10年後？と思うと驚いてしまいます。そしてみんなの顔のなんてなんて誇らしそうなこと！家庭に守られ、地域に見守られて、今、大人になったんだなあ。この日もまた、こんなにたくさんの方々に、心のこもったお祝いをしてもらって…。小出の出身の子は幸せだなあと、つくづく思うと同時に、またしても小出の「地域」の力に感服いたしました。（小出小PTA運営だよりから抜粋）



手作りのおもてなし

被ばくピアノとともに！
3月18日



「わいわいハウス」を会場に「被ばくピアノとともに」というタイトルでお話とコンサートが開かれました。第一部は、4トントラックに広島で被爆したピアノを乗せ自らハンドルを握り全国を行脚している調律師の矢川光則さんのお話。クイズ形式で子どもたちの興味をも引きつけながら進められました。矢川さんの活動は来年映画化される予定で監督の五藤利弘さんのサプライズ登場もありました。第二部は、ライフタウン出身のピアニスト・大島春生さんプロデュースのコンサート。ピアノ演奏だけでなくハーモニカ、ベースも加わり、ジャンルも歌謡曲、ジャズ、シャンソンと多岐に渡り児童合唱団による「ビリーブ」の澄んだ歌声が花を添え、会場いっぱいに詰めかけた老若男女80人の胸を打ちました。今回のピアノは昨年ノルウェー・オスロで行われたノーベル平和賞記念コンサートでも使用された物で、「ピアノを通じ平和の種をまく」という思いは聴衆にしっかり伝わったのではないのでしょうか。

小学生のお話会
2月22日



「ふくはうち」「そらまめくんとめだかのこ」「バナナのはなし」の絵本と、「ジャックとまめのき」「ヘンゼルとグレーテル」の紙芝居を楽しみました。

3月8日も開催しました。

利用者部会より

3月24日（土）、平成29年度小出コミュニティセンター利用者部会総会が開催され、サークルと任意団体の参加で一年間の活動内容が審議され、次年度の代表者4名（留任2名・新任2名）が出席者の承認を得て選出されました。皆様のご協力をお願いいたします。

*現在、41のサークルが登録しています。
サークル活動にご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

梅なのに
我がもの顔の
目白たち
行く雲や
岸辺のベンチ
いま二人
利用者部会代表
青木 治夫